

岩手県感染症週報

平成15年第4週（1月20日～1月26日）

岩手県結核 感染症情報センター

第4週の概要

1 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

2 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

3 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症（全数把握対象疾患）

- ・患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・インフルエンザは前週よりさらに増加しています。県内の定点あたり患者数は、前週の 9.3 からこの週は 15.7 と大きく増加しました。県内すべての地区で、流行のめやすである注意報（定点あたり患者数 10.0 以上）が発令されています。特に、一関と久慈地区では、定点あたり患者数がそれぞれ 24.9、23.7 と多くなっています。

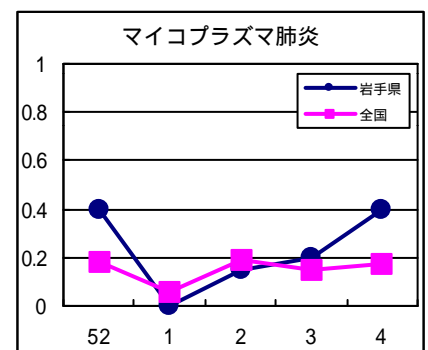
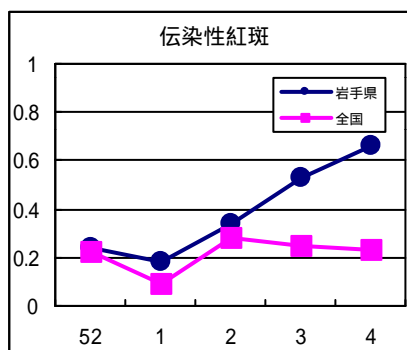
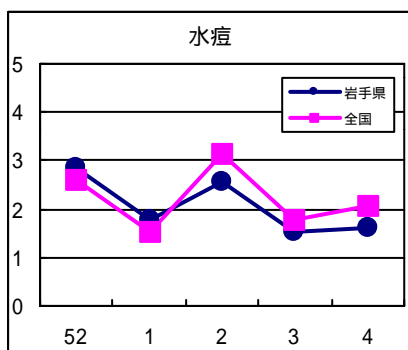
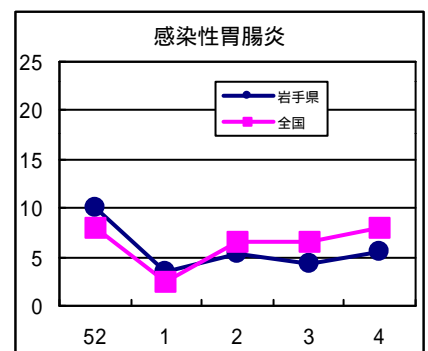
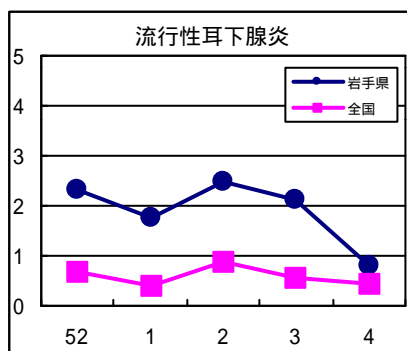
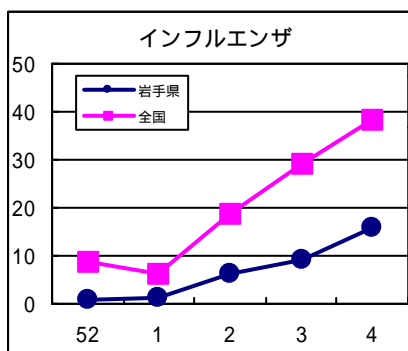
岩手県環境保健研究センターでは、これまで検出されている A 香港型インフルエンザウイルスのほか、B 型インフルエンザウイルスも検出しています。

また、インフルエンザに起因したと思われる肺炎により死亡した事例もみられますので、これから特に嚴重に注意が必要です。

- ・流行性耳下腺炎は減少しています。前週まで患者数が多かった花巻、釜石地区でもこの週には減少しました。
- ・伝染性紅斑は北上、釜石地区で前週よりさらに患者数が増加しています。特に北上地区は、定点あたり患者数が 4.3 と多くなっています。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向
		52	1	2	3	4	
インフルエンザ	岩手県	0.63	1.45	6.26	9.34	15.69	↗
	全国	8.71	6.22	18.95	29.15	38.52	
咽頭結膜熱	岩手県	0	0	0.03	0.03	0	→
	全国	0.12	0.05	0.08	0.06	0.06	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.58	0.18	0.42	0.39	0.68	→
	全国	1.04	0.31	0.86	0.91	1.02	
感染性胃腸炎	岩手県	10.05	3.53	5.34	4.34	5.47	→
	全国	8.08	2.41	6.54	6.59	7.99	
水痘	岩手県	2.84	1.79	2.58	1.53	1.61	→
	全国	2.59	1.52	3.15	1.77	2.06	
手足口病	岩手県	0.24	0.03	0.05	0	0.03	→
	全国	0.21	0.06	0.1	0.1	0.09	
伝染性紅斑	岩手県	0.24	0.18	0.34	0.53	0.66	↗
	全国	0.22	0.09	0.28	0.25	0.23	
突発性発疹	岩手県	0.26	0.29	0.34	0.63	0.42	→
	全国	0.57	0.24	0.65	0.7	0.64	
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0	0.01	0	0.01	
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0	0.01	0.01	0.01	
ヘルパンギーナ	岩手県	0	0.03	0	0	0.03	→
	全国	0.05	0.01	0.03	0.03	0.03	
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0.03	0.03	0	0.05	0.03	→
	全国	0.03	0.02	0.04	0.04	0.03	
流行性耳下腺炎	岩手県	2.32	1.76	2.47	2.13	0.82	↘
	全国	0.7	0.39	0.88	0.54	0.44	
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0.08	0	0	→
	全国	0.05	0.01	0.05	0.03	0.03	
流行性角結膜炎	岩手県	0.58	1.5	0.58	1	1	→
	全国	0.87	0.35	1.18	0.79	0.89	
急性脳炎（日本脳炎を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0	0.01	0.01	0.01	0.01	
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0	0	0.02	0.01	0	
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.4	0	0.15	0.2	0.4	↗
	全国	0.18	0.06	0.19	0.15	0.17	
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0	0	0.02	0.01	0	
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0	0	0.01	0.01	0.03	

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 52	1	2	3	4	累計	4	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	1	0	5	0	0	5	8	38
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	1
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	2
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	12	31
四類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	4	21
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	1	2
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	10	43
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	1	0	1	1	10
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	9
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	9	35
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	1
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	1	2
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	0	2	17
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳児ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	0	4	16
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	1
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	2	8
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	1	6
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

「ウエストナイル熱」が平成14年11月から新たに四類感染症に指定されました。

今注目の感染症

インフルエンザ

「かぜの大部分はウイルスが原因ですが、原因となるウイルスにはアデノウイルス、ライノウイルス、RSウイルス、コロナウイルス、インフルエンザウイルスなど100種類以上が知られています。インフルエンザは、インフルエンザウイルスによるかぜですが、症状が大変重いことから、他のウイルスによるかぜ(普通のかぜ)と区別して取り扱われます。

インフルエンザの流行

日本でのインフルエンザの流行は毎年冬期にみられ、11月下旬から12月上旬頃に発生が始まり、翌年の1～3月頃に患者数が増加し、4～5月にかけて減少していくという発生パターンを示します。

インフルエンザウイルス

インフルエンザウイルスにはA、B、Cの3つの型があり、流行を起こすのはA型とB型です。A型とB型のウイルス粒子表面には赤血球凝集素（HA）とノイラミニダーゼ（NA）の2つの蛋白がスパイク状に突出しています。A型ウイルスのHAとNAは抗原的に多様で、HAには15種類、NAには9種類あります。A型ウイルスはHAとNAの組み合わせによりさらに亜型に分類されます。例えば、現在流行しているA香港型はHA、NAの種類によりH3N2と表します。様々な亜型のA型ウイルスが、ヒト以外にもブタやトリなどの動物に広く分布しており、動物由来の亜型ウイルスがヒトの世界にも侵入します。

A型ウイルスでは、数年から数十年ごとに世界的な大流行がみられますが、これは突然別の亜型ウイルスが出現し、従来の亜型ウイルスに取って代わることによって起こります。20世紀には、1918年に出現した新亜型（H1N1）ウイルスによるスペインかぜの大流行、1957年に出現した新亜型（H2N2）ウイルスによるアジアかぜ（H2N2）の大流行、1968年に出現した新亜型（H3N2/HongKong）ウイルスによる香港かぜの大流行の3つの大流行がありました。現在は、最後の亜型（H3N2/HongKong）ウイルスが出現してから30年以上経過していることから、新亜型ウイルスの出現が警戒されており、新亜型ウイルスによる大流行に備え対策が進められています。

臨床症状

1～3日間ほどの潜伏期間の後に、発熱（通常38度以上の高熱）・頭痛・全身の倦怠感・筋関節痛などが突然現われ、咳・鼻汁などの上気道炎症症状がこれに続き、約1週間の経過で軽快します。普通のかぜに比べて全身症状が強く現れます。

ウイルス学的診断

患者の咽頭からウイルスを直接に分離することが病原診断の基本ですが、これには特別な設備や技術が必要であり、結果が出るまでには約1週間を要します。最近、外来あるいはベッドサイドなどで20～30分以内に迅速簡便に病原診断が可能なインフルエンザ抗原検出キットが実用化され、外来診療などで抗インフルエンザ剤の使用の可否を判断する際に有用とされています。

予防(ワクチン)・治療

現行のインフルエンザワクチンはウイルスの感染やインフルエンザの発症そのものを完全には防御出来ませんが、重症化や合併症の発生を予防する効果は証明されています。高齢者など罹患した場合に重症化する可能性の高い人には、積極的なワクチン接種がすすめられています。

インフルエンザに対する治療法は、これまでは対症療法が中心でしたが、1998年に我が国でも抗A型インフルエンザ薬としてアマンタジンを使用することが認可されました。アマンタジンは薬剤耐性ウイルスが出現し易いため、使用には注意が必要とされています。さらに、2001年にはノイラミニダーゼ阻害薬（ザナミビル、オセルタミビル）が認可されました。ノイラミニダーゼ阻害薬はA型にもB型にも有効な抗インフルエンザ薬で、耐性も比較的できにくく、副作用もほとんどないとされており、発病後2日以内に服用すれば症状を軽くし、罹病期間の短縮も可能とされています。

病原体検出情報

- ・ 12月から1月にかけて採取したインフルエンザの患者の咽頭拭い液から、A香港型インフルエンザウイルスを13例、B型インフルエンザウイルスを1例検出しました。
- ・ 1月中旬に採取した感染性胃腸炎の患者の便から、ノーウォークウイルス（遺伝子型II）を3例、ロタウイルスを2例検出しました。

集団感染情報

インフルエンザ様疾患（集団風邪）による学校等の閉鎖措置がありました。

- ・ 1月27日には13施設、1月28日には6施設で学校等の閉鎖措置が行われました。これまでの措置施設数の累計は24施設になりました。

医療機関からの情報

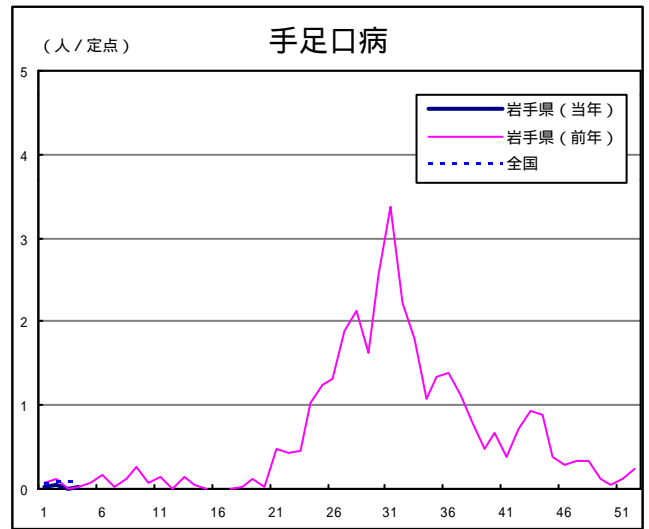
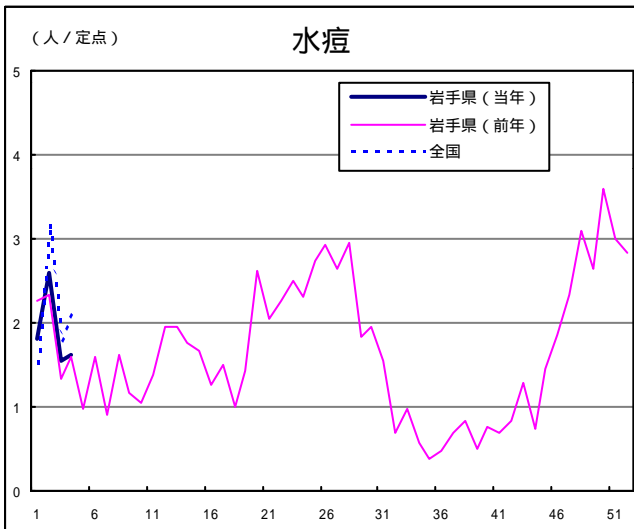
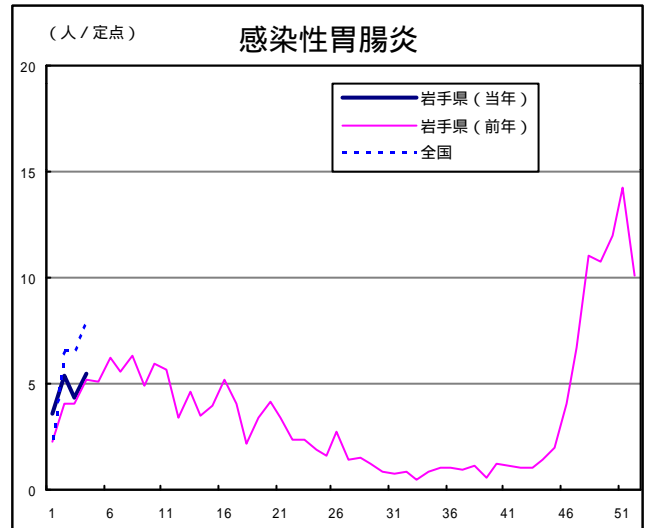
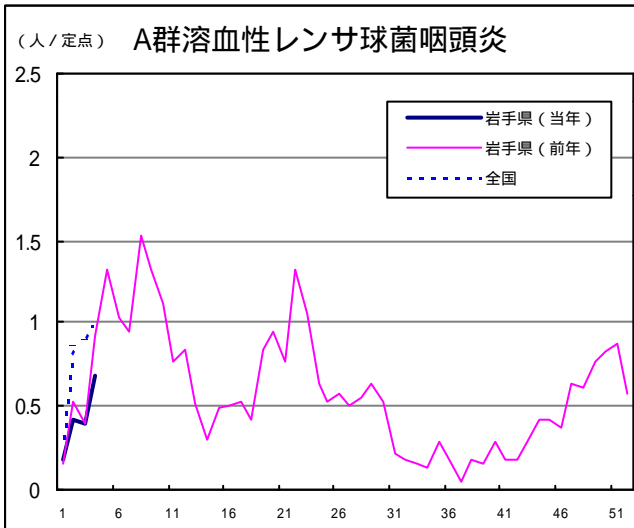
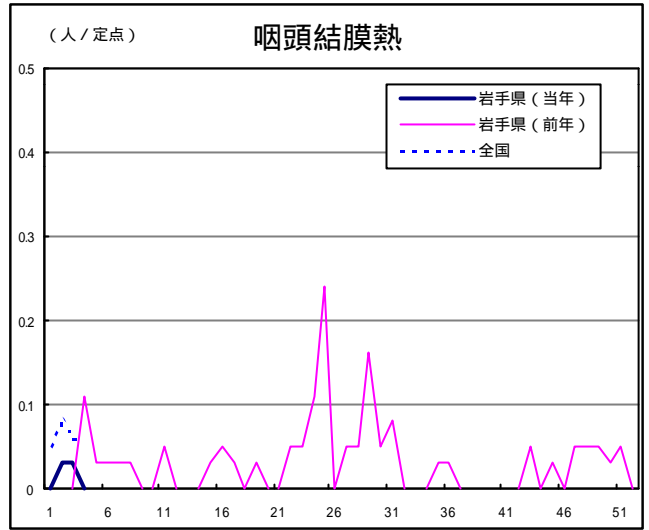
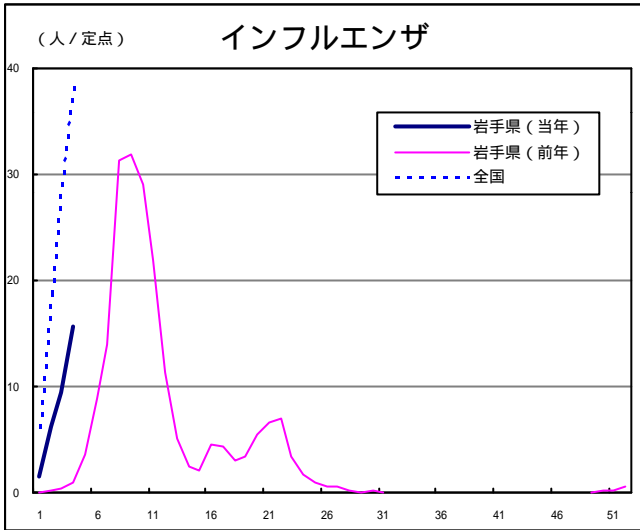
医療機関からの情報はここに掲載します。

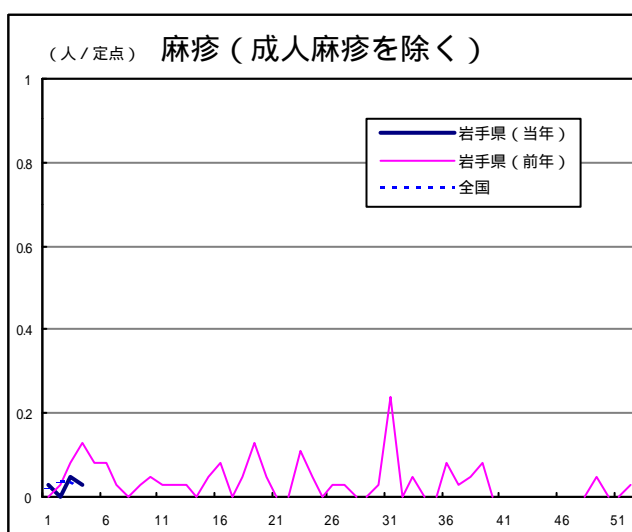
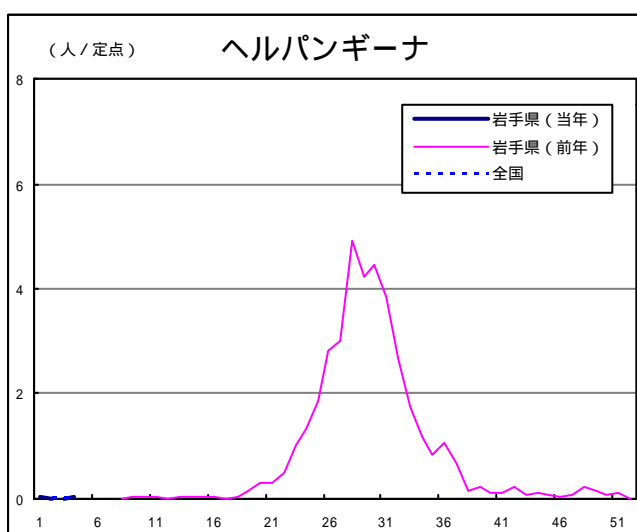
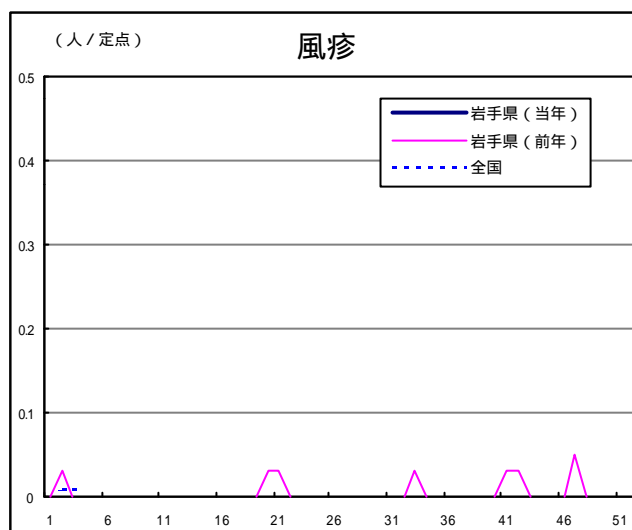
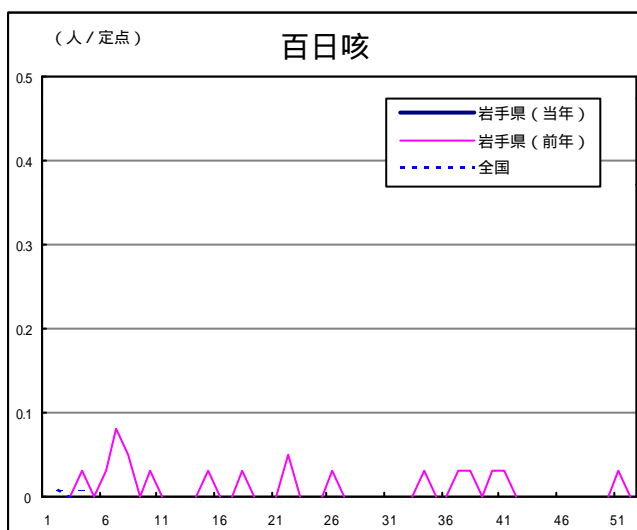
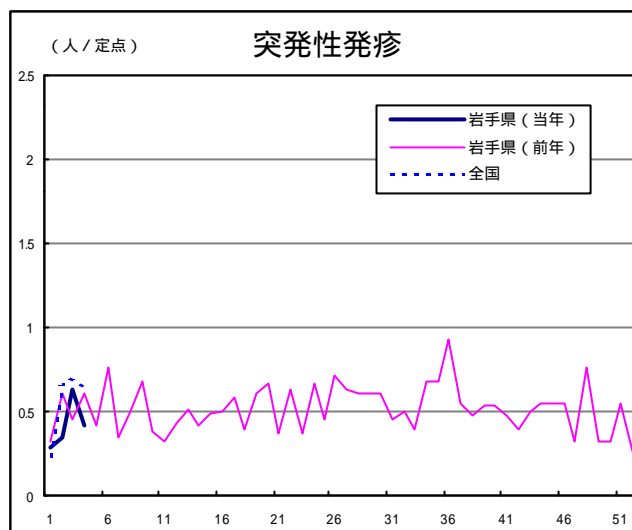
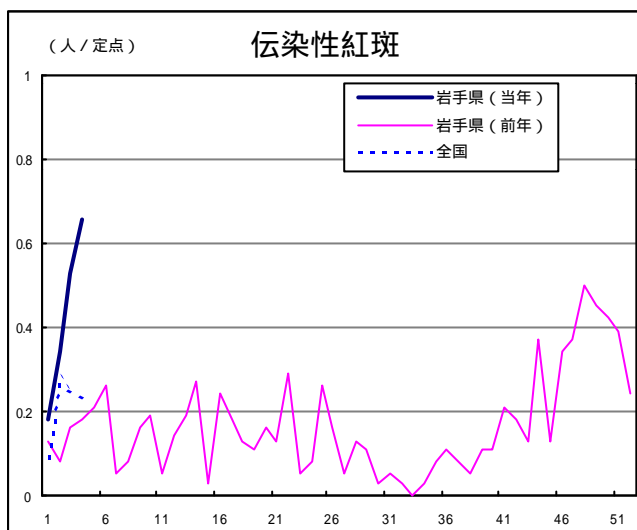
Q & A

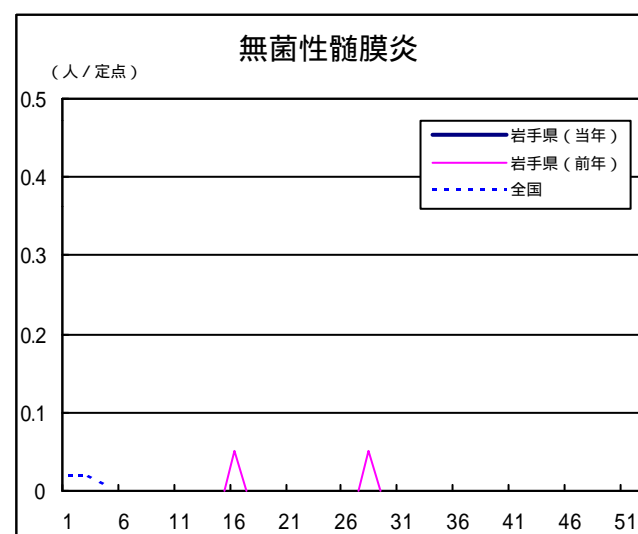
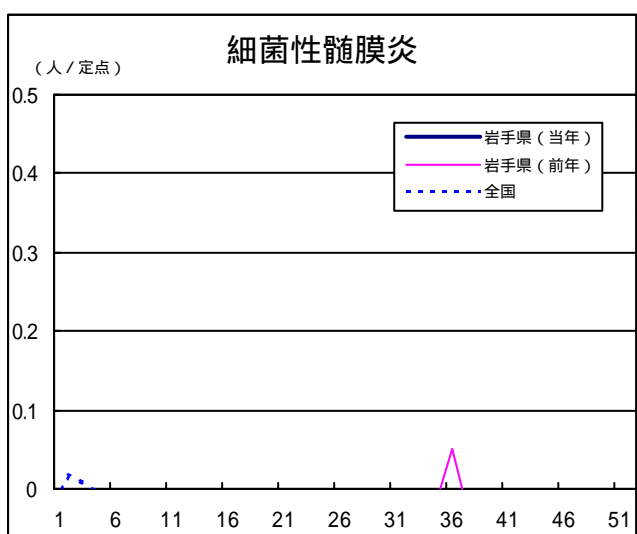
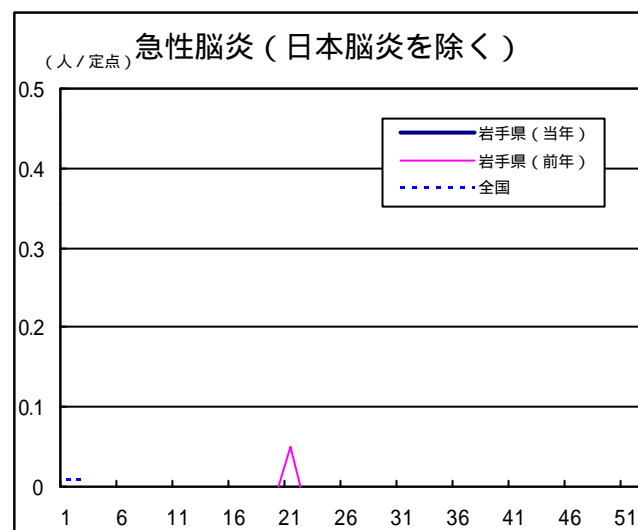
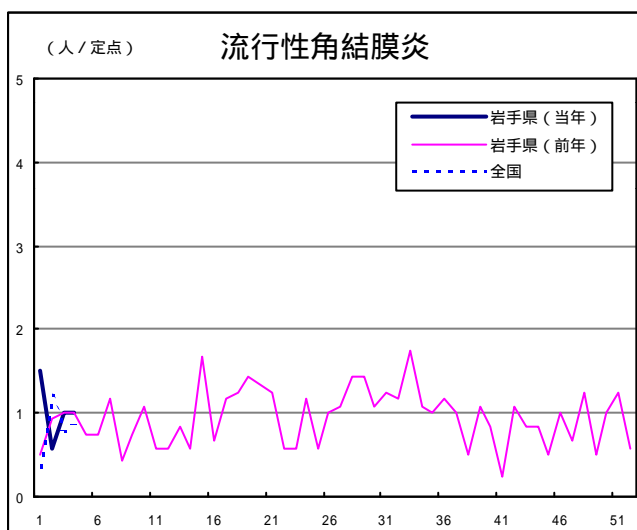
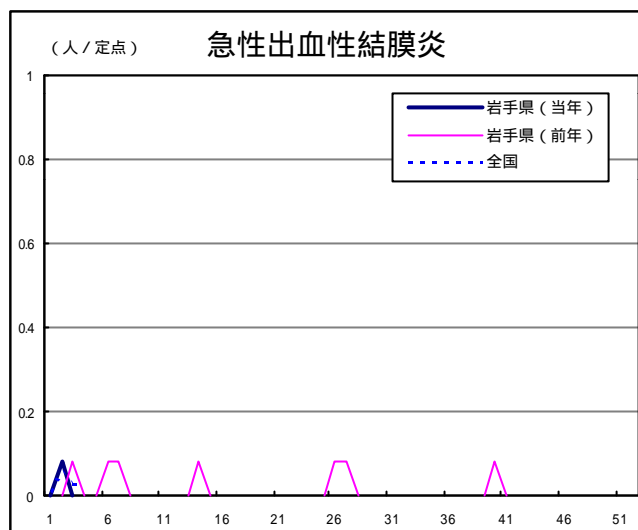
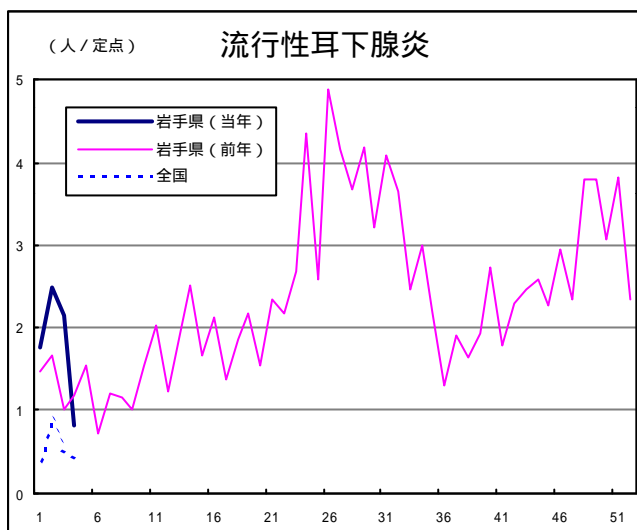
読者の皆様からの質問はここでお答えします。

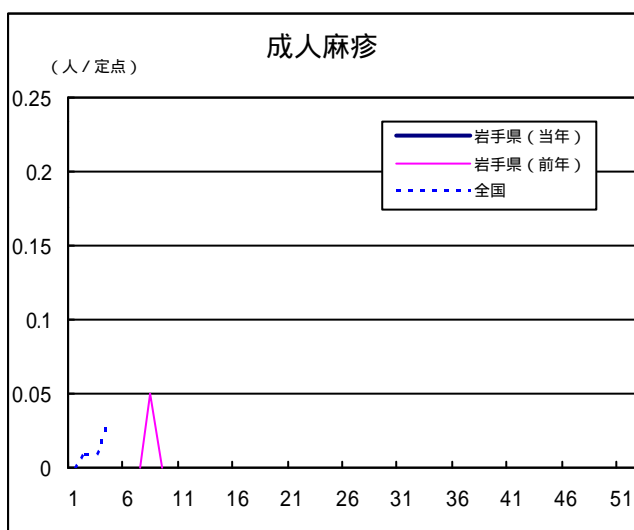
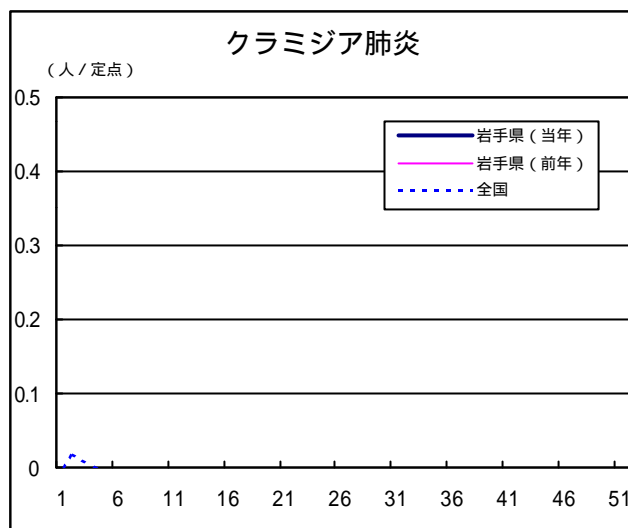
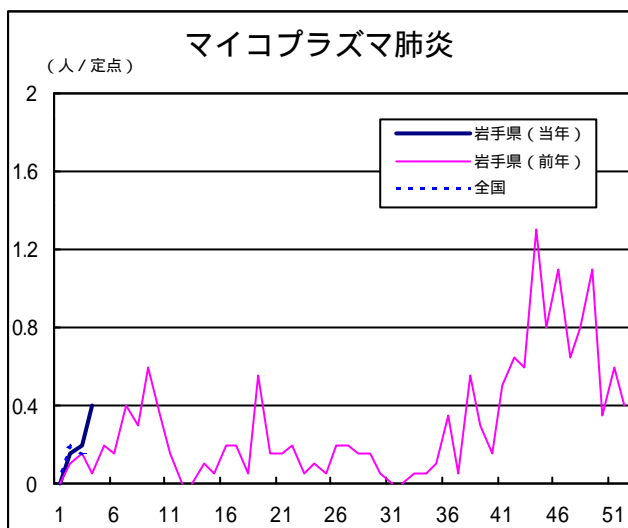
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」の配信を始めました。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成15年第4週 平成15年1月31日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 （岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>